

施設入場券登録申請要項

1. 観光ポータルサイトについて

大阪・関西万博のテーマの地域での実践を万博の来場者に実際に行き体験してもらう「万博＋観光」を推進。万博と観光をセットにして観光ポータルサイトなどで内外に情報発信。万博開催の効果の全国への波及を図る。



☆ **2820万人（インバウンド350万人）の万博来場者**にダイレクトにアプローチ

- ・万博チケット購入者へのメールマガジンでのサイト情報の発信
- ・来場日時予約者へのサイト情報の発信
- ・会期中、会場内サインージ等でのサイト情報の発信

☆ **体験内容（テーマ性・高付加価値性など）**で選ばれる

万博来場者が各地域を来訪し、地域を深く体験

【地域における効果】

- ☆ 地域での消費額の拡大
- ☆ 自社商品の内外へのPR
- ☆ リピーター、新規ファンの獲得
- ☆ 地域の観光客受入態勢が充実

観光による地域の活性化

- 名称：Expo2025 Official Experiential Travel Guides
<https://www.expo2025travel.jp/>
- コンセプト：万博プラス全国観光を推進するため、国内外の万博来場予定者に対して、万博のテーマに関連した日本各地の体験や過ごし方を提案し地域への訪問を促す。
【サイトの主な搭載機能】
 - ・地域の魅力紹介（スペシャルストーリー・動画）
 - ・万博テーマの体験商品販売
 - ・地域イベント紹介
- サイト開設日：2024年4月4日（木）～2025年10月31日（金）
- 対応言語：日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語
※各商品紹介ページの内容は、各商品提供事業者が翻訳して登録

Expo 2025 Official Experiential Travel Guides

トップページ

- スペシャルストーリー（各地域魅力紹介記事ページを紹介）
- 協会がピックアップしたジャンル（和食、アートなど）の商品紹介（商品ページへリンク）
- 閲覧日の直近のイベントから6件程度をピックアップして紹介（イベントページへリンク）
- 関係団体へのリンクページへの遷移
- その他下記の各ページへのリンクボタン

地域魅力紹介 記事・動画

10本程度の地域の
記事と動画を掲載
加えて、ポータルサイト
公式You Tube チャンネルへ
各地域の動画を掲載

商品検索ページ

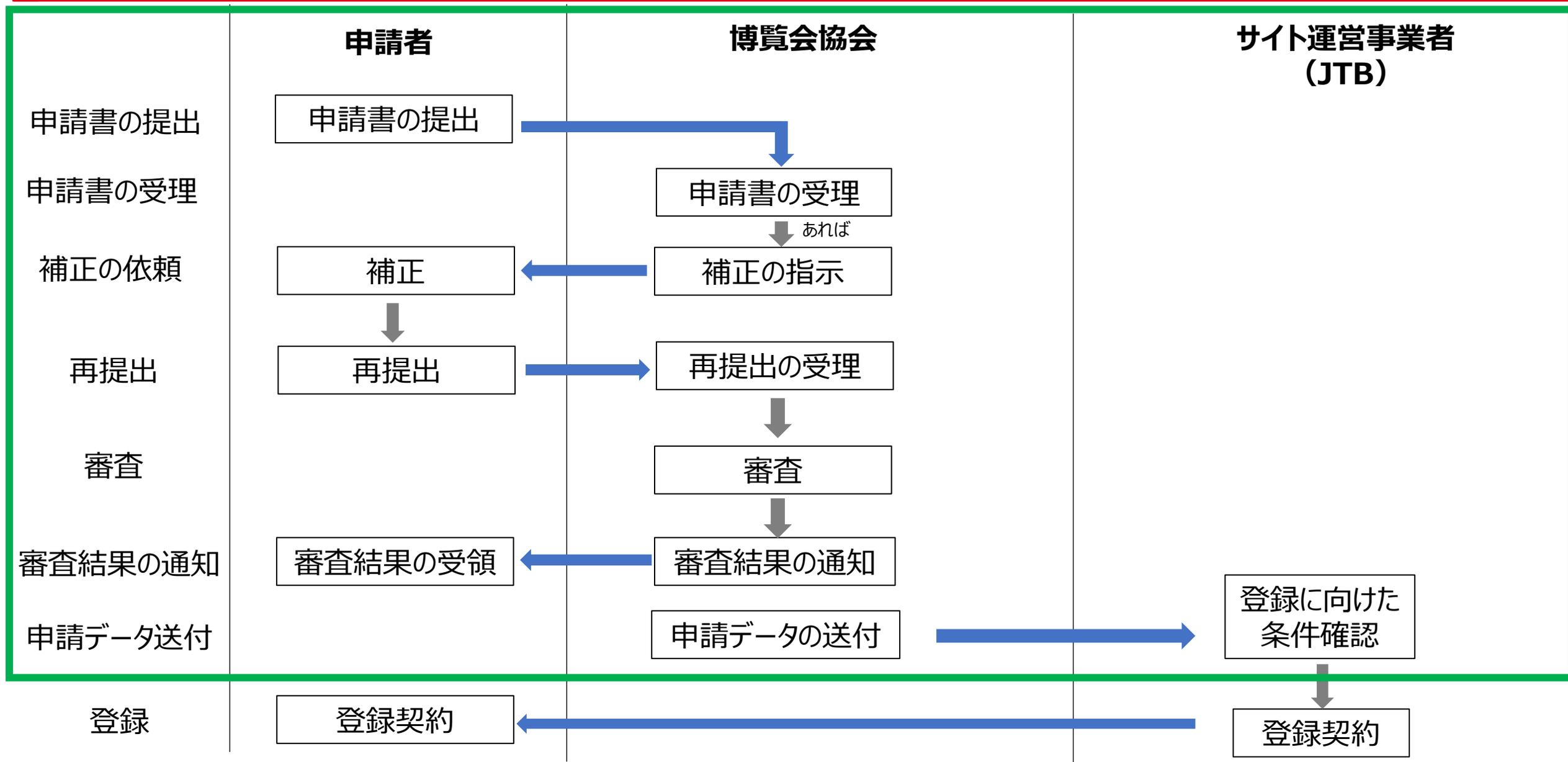
商品掲載し販売

- ・体験
- ・日帰りツアー
- ・宿泊付きツアー
- ・**施設入場券**

イベント紹介ページ

地域のイベントを掲載
イベントは登録済のものと
新規募集のものを掲載

2. 施設入場券の商品申請について



以下の基準を全て満たす施設入場券について、「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」への掲載を可能とする

基準① テーマとの親和性

施設等で見たり体験したりできる内容が万博のテーマと親和性があること

基準② 独自性と多言語での受入体制

そこでしか味わえない独自性があり、多言語での受入体制が整っていることにより、訪日旅客に対して、高い満足度を提供できる施設または商品内容であること

その他加点要素

- 複数の施設を組合わせた共通券（周遊券）、回数券であれば、複数の施設の入場券に加えて交通施設や食事施設が組込まれているなど周遊性が高いこと
- 現地で商品を購入する際のキャッシュレス対応、ハラル・ビーガン・ベジタリアンなどの食事対応、バリアフリー対応など多様なニーズに応える受入体制が整っていること

施設等で見たり体験できる内容がどのような点で万博のテーマと関わると考えるか記載してください。この内容をもって、協会において基準に適合しているかどうかを審査します。審査については主に以下のような点について確認を行います。なお、テーマとの親和性については別途次ページに参考資料を掲載しますのでそちらも確認しながら記載してください。

テーマとの親和性の主な確認ポイント

- I 記載内容が万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」などに関連していること。
(例：次ページにあるような万博のテーマと具体的にどのような関連があるか記載されている。
テーマとの関連を体験する参加者が感じることができるか。など)
- II 申請書3(1)で記載されたテーマとの親和性の内容が、申請書2(3)で記載されている施設等の観覧・体験内容に反映したものとなっていること。

万博テーマとの親和性のある施設入場券の一例

日本博2.0の各地でのイベント（文化庁）、震災復興の展示施設（復興庁・経産省）、自治体参加催事で紹介する地域イベントの観覧や関連施設

万博のテーマ・コンセプト

【テーマ】いのち輝く未来社会のデザイン 【サブテーマ】いのちを救う、いのちに力を与える、いのちをつなぐ 【コンセプト】未来社会の実験場

アクションプラン

1. モビリティ
(空飛ぶクルマの実現、自動運転・MaaSの推進)
2. エネルギー・環境 (資源循環に関する展示・実証)
3. デジタル (多言語翻訳技術、Beyond 5G)
4. 健康・医療 (ライフサイエンス)
(Personal Health Recordの活用)
5. 観光・食・文化・スポーツ・教育
(国立公園、食文化・酒類・農泊、文化・芸術等)
6. 最先端の科学技術
(ロボットの活用推進、防災DX等の技術活用)
7. その他 (テーマウィーク、MICEの誘致・開催)

テーマウィーク

地球の未来と生物多様性	健康とウェルビーイング
平和と人権	食と暮らしの未来
学びと遊び	未来への文化共創
未来のコミュニティとモビリティ	SDGs + Beyond いのち輝く未来社会

日本政府館

テーマ：いのちと、いのちの、あいだに-Between Lives-
コンセプト：循環 (いのちのつながり) の体験

シグネチャーパビリオン

河瀬 直美 / 「いのちを守る」Dialogue Theater-いのちのあかし-
宮田 裕章 / 「いのちを響き合わせる」Better Co-Being
石黒 浩 / 「いのちを拓げる」いのちの未来
中島 さち子 / 「いのちを高める」いのちの遊び場 クラゲ館
落合 陽一 / 「いのちを磨く」null2
福岡 伸一 / 「いのちを知る」いのち動的平衡館
河森 正治 / 「いのちを育む」いのちめぐる冒険
小山 薫堂 / 「いのちをつむぐ」EARTH MART

大阪館 (大阪ヘルスケアパビリオン)

テーマ：REBORN
展示ストーリー：ミライの都市生活

関西広域連合館

テーマ：いのち輝く関西悠久の歴史と現在

民間パビリオン

- ① 日本電信電話(株) / NTT Pavilion "Natural" (仮称)
- ② 電気事業連合会 / 電力館 可能性のタマゴたち
- ③ 住友EXPO2025推進委員会 / 住友館
- ④ パナソニックHD(株) / パナソニックグループパビリオン「ノモ」の国
- ⑤ 三菱大阪・関西万博総合委員会 / 三菱未来館
- ⑥ 吉本興業HD(株) / よしもと waraii myraii館
- ⑦ (株)パソナグループ / PASONA NATUREVERSE
- ⑧ NPO法人ゼリ・ジャパン / BLUE OCEAN DOME
- ⑨ (株)バンダナムコHD / GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION
- ⑩ 玉山デジタルテック(株) / TECH WORLD
- ⑪ (一社) 日本ガス協会 / ガスパビリオンおばけワンダーランド
- ⑫ (一社) 大阪外食産業協会 / ORA外食パビリオン『宴~UTAGE~』
- ⑬ 飯田グループHD(株) / 飯田グループ×大阪公立大学共同出展館

公式参加パビリオン

万博に参加する各国政府・国際機関が企画するパビリオン

催事 (自治体等)

万博会場内の大催事場やメッセ等にて開催される展示やイベント

TEAM EXPO 2025

共創チャレンジや共創パートナー万博会場内の大催事場やメッセ等にて開催される展示やイベント

フューチャーライフエクスペリエンス

万博会場内に設けられる「未来のヘルスケア、未来の食、未来への行動などが体験できるエリア」をコンセプトとして、中小企業、スタートアップ企業、教育機関等の多様な主体が参画し、未来に向けた「問い」と「提案」が集まる場所

検索カテゴリー・ジャンルと万博テーマとの関連性を整理。

サブテーマ	テーマに沿った体験のイメージ	親和性の高いジャンル
いのちを救う (Saving Lives)	人のいのちと地球のいのちを考える旅 ・平和や健康・ウェルビーイングについて考える体験 ・自然や多様な生物にふれあい、地球の未来を考える体験	平和、健康・医療、脱炭素、温泉、絶景、 国立公園・世界自然遺産、海・川・湖での体験、 山での体験
いのちに力を与える (Empowering Lives)	幸福で豊かな生活を送るため自身を磨く旅 ・ひとの食と暮らしを豊かにする多彩な体験 ・知的でこころを豊かにする遊びと学び体験	和食、酒、ジビエ、ローカルフード、 ファームツアー、ガストロノミー、料理教室、 ナイトライフ
いのちをつなぐ (Connecting Lives)	豊かな社会の実現のため未来を想像する旅。 ・未来につなぐべき伝統的・先進的な文化の体験 ・自分らしく生きるための新たな出会いがある体験	伝統行事・祭り、伝統芸能、伝統工芸、 文化体験、遺跡・歴史的建造物、 スピリチュアル、マンガ・アニメ、演劇、笑い、 ミュージアム、アート、音楽、震災復興・防災、 スポーツ、工場見学

申請する商品が、そこでしか体験できないような独自性と訪日旅客に対応できる多言語での受入体制を備えており、高い満足度を提供できるかを確認します。この内容をもって、協会において基準に適合しているかどうかを審査します。審査については主に以下のような点について確認を行います。

独自性と多言語での受入体制の主な確認ポイント

- I 独自性を感じられる要素が具体的に記載されていること。
(例：世界でそこにしかないものやそこでしか体験できないものがあること。
他にはないような工夫を行ったりしていること。 など)
- II 多言語対応ガイドや多言語による解説表示等により、訪日旅客がその施設での観覧・体験への理解を深められるような受入体制を整えていること。
(例：対応可能な言語が記載されていること。
対応できる言語について具体的対応内容が記載されていること。 など)

(1) 周遊性

複数の施設を組合わせた共通券（周遊券）、回数券であれば、複数の施設の入場券に加えて交通施設や食事施設が組込まれているなど、周遊して観光することが可能か。

(例)「大阪楽遊パス」

大阪市内の25以上の観光スポットが1つのQRコードで利用可能。また水上バスなど交通手段も組込。

(2) キャッシュレス対応

現地で商品等を購入する際に、クレジットカードや電子マネー、QRコード決済などのキャッシュレス決済が可能か。

(3) 現地での食事対応

商品の中で食事を行ったり、現地で食事を行うことができる場合、ハラール対応、ビーガン対応、ベジタリアン対応、アレルギー対応、グルテンフリー対応など食事制限等への対応が可能か。

(4) バリアフリー対応

車椅子の利用等、現地でのバリアフリーの対応が可能か。

(5) その他受入体制の工夫

その他(2)~(4)以外で、受入体制として工夫や対応が可能な内容があれば自由に記載してください。

申請書内の記載例および次ページ以降の申請書記載時の留意事項をもとに以下の内容について記載してください。

1 申請者情報

- (1)申請者住所
- (2)申請事業者名称
- (3)申込事業者代表者名
- (4)担当者部署名
- (5)担当者名
- (6)電話番号
- (7)メールアドレス

2 施設入場券の詳細

- (1)施設入場券名
- (2)施設入場券概要
- (3)施設等の観覧・体験内容
- (4)料金（税込）
- (5)料金に含まれるもの
- (6)プラン設定（催行月）
- (7)販売開始年月日
- (8)販売終了年月日
- (9)施設入場券有効期間
- (10)所要時間の目安

3 基準① テーマとの親和性

- (1)記述
- (2)参考 ジャンル選択
 - 日本の暮らしと食
和食、酒、ジビエ、ローカルフード、料理教室、
ガストロノミー、ファームツアー、ナイトライフ
 - 伝統・文化・歴史
伝統行事・祭り、伝統芸能、伝統工芸、
文化体験、遺跡・歴史的建造物、
スピリチュアル
 - ネイチャー、アウトドア
絶景、国立公園・世界自然遺産、
海・川・湖での体験、山での体験、温泉
 - ポップカルチャー
マンガ・アニメ、演劇、お笑い
 - その他
ミュージアム、アート、音楽、健康・医療、
スポーツ、平和、震災復興・防災、脱炭素、
工場見学

4 基準② 独自性と多言語での受入体制

- (1)記述
- (2)該当項目チェック
- (3)記述

5 その他加点要素

- (1)該当項目チェック
- (2)記述

6 サイト内表示関係

- (1)地図検索の住所
- (2)サイトでの対応言語

以下の項目について申請書へ記載いただく際の留意事項は以下のとおりです。
こちらを参考に申請書を作成してください。

1 申請者情報（詳細の収集項目は下記7項目）

協会の審査の前段に、申請者の確認・確定と今後の連絡調整を行う担当者を把握し、情報を収集するためのものです。

- (1)申請者住所：申請者の特定のため番地まで記入してください。
- (2)申請事業者名称：正式名称で記入してください。社名および店舗名を記入してください。通称がある場合わかるようにかっこ書きで記載ください。
代理申請する場合、代理申請事業者名称をかっこ書きで記載ください。
- (3)申請事業者代表者名：法人代表者名等を記載してください。
- (4)担当者部署名：申請書の内容確認等の窓口となる担当者様の所属部署名を記載してください。
- (5)担当者名：申請書の内容確認等の窓口となる担当者様のお名前とフリガナを記載してください。
- (6)電話番号：いただいた内容をもとにご連絡いたしますので誤りのないようお願いします。
- (7)メールアドレス：いただいた内容をもとにご連絡いたしますので誤りのないようお願いします。

2 商品の内容

(1) 施設入場券名

施設入場券名やイベント名、共通券（周遊券）・回数券の場合は商品名を記載してください。ここに「大阪・関西万博」等の協会のIP（知的財産）を活用する場合、別途ライセンス申請が必要となる場合があります。

(2) 施設入場券概要

施設入場券や共通券（周遊券）・回数券がどのようなものであるか、コンセプトやPRポイントなど、概要を記載してください。登録の際にはこの欄の内容が商品タイトルの下に見られるようにしますので、商品購入者に対して、この商品が万博テーマの関連性・特別プランであることなどのPRポイントを記載してください。

(3) 施設等の観覧・体験内容

施設入場券や共通券（周遊券）・回数券で利用できる施設等やイベントで入場者が見たり体験したりできる内容を具体的に記載してください。審査の際はこの記載をもとに商品の内容を理解することとします。

加えて、共通券（周遊券）・回数券の場合は、代表事業者名・参画事業者名を全て記載してください。

(4) 料金

施設入場券の料金（大人料金）を日本円・税込額で記載してください。なお、商品販売実績に応じて、料金の10%をシステム手数料として差し引いてお振込みいたします。外貨での取り扱いはできません。

(5) 料金に含まれるもの

施設入場券の料金に含まれるものを記載してください。複数施設入場可能な場合は利用できる施設名を列挙してください。

(6) 参画商品形態

施設入場券の形態について、あてはまるものを選択してください。複数の施設に入場できるチケットの場合は共通券（周遊券）を、1つの施設に既定回数（複数回）入場できるチケットの場合は回数券を選択してください。（28ページ参照）

(7) プラン設定（催行月）について

申請する施設入場券を利用することが可能な月について当てはまるものをすべてチェックしてください。チェックいただいた内容をもとに購入希望者が「こだわり検索」にて商品を絞り込むことが可能となります。サイトとして設定する2024年5月から2025年10月末までの期間に催行可能な商品としてください。申請時点での催行予定で構いませんのでご記入ください。

(8) 販売開始年月日、(9) 販売終了年月日

施設入場券の販売開始日と販売終了日について記入してください。なお、入力いただいても審査等の関係から希望する開始日からの販売ができない可能性がありますことをご理解ください。申請時点の予定で構いません。

(10) 施設入場券有効期間

施設入場券購入後、使用にあたって有効期間がある場合は記入してください。

(11) 所要時間の目安

利用できる施設等の観覧・体験にかかる所要時間の目安について、あてはまるものどれか一つにチェック（）してください。例えば、連続する2日間続けて使用できる商品の場合は、宿泊を伴わなくても1泊2日（2日間）を選択してください。※システム上、観光ポータルサイトでの商品検索時の選択項目が〇泊〇日（〇日間）の表記となります。

3 基準① テーマとの親和性

(1) 商品の万博テーマとの親和性

10～12ページを参考に、施設等で見たり体験できる内容が万博のテーマと合致すると考える内容を記載してください。

・商品のジャンルについて（申請書32行目）

申請する商品の内容について、以下のジャンルのうち該当するジャンルにチェックをしてください。複数選択可能です。ここで選択されたジャンルをもとに利用者が絞り込み検索を行うこととなります。また、次ページのとおり、利用者が万博のサブテーマで商品検索を行う際には選択されたサブテーマと関連するジャンルの商品が絞り込まれることとなります。このジャンルについては万博のサブテーマをもとにテーマに沿った体験についてイメージし、そこから導出されたものです。なお、導出されたジャンルを利用者が検索しやすいように、大きく5つのカテゴリーに分類しています。

カテゴリー	ジャンル案
1 日本の暮らしと食（Japanese food culture）	和食、酒、ジビエ、ローカルフード、料理教室、ガストロノミー、ファームツアー、ナイトライフ
2 伝統・文化、歴史（Traditional culture & Historical spots）	伝統行事・祭り、伝統芸能、伝統工芸、文化体験、遺跡・歴史的建造物、スピリチュアル
3 ネイチャー、アウトドア（Nature & Outdoor）	絶景、国立公園・世界自然遺産、海・川・湖での体験、山での体験、温泉
4 ポップカルチャー（Pop culture）	マンガ・アニメ、演劇、笑い
5 その他（Others）	ミュージアム、アート、音楽、健康・医療、スポーツ、平和、震災復興・防災、脱炭素、工場見学

4 基準② 独自性と多言語での受入体制

(1) 施設等の独自性

13ページを参考に、ここでしか体験できないものなど、施設等の独自性を感じられる要素を具体的に記載してください。

(2) 多言語での対応言語

受入体制があり、受入対応できる言語を選択してください。

(3) 多言語での対応内容

13ページを参考に、多言語対応ガイドや多言語による解説表示など、多言語対応している内容を具体的に記載してください。

言語により対応内容が異なる場合はそれぞれの言語について対応内容を具体的に記載してください。

5 その他加点要素

(1) その他加点要素への対応

14ページを参考に、周遊性、キャッシュレス決済、現地での食事対応、バリアフリー対応など、受入体制の工夫を行っている場合、該当する項目を選択してください。

(2) その他加点要素への対応内容

(1)で選択した項目それぞれについて、対応している内容を具体的に記載してください。

※こちらで回答いただいた内容は前ページまでの審査の最後に加点要素として考慮を行います。

6 サイト内表示関係

(1) 地図検索で表示させる住所

本サイトで可能な地図検索において地図上のどの点にピンを立てるかを把握するためのものです。施設やイベントの開催場所の郵便番号および番地までの住所を記入してください。なお、Google Map上でピンを立てて表示するので、1点が決めることができるように必要に応じて文章や緯度・経度などを記入してください。（例：大阪府大阪市中央区大阪城1-1 大阪城本丸日本庭園東側 34°41'09.4"N 135°31'30.9"Eなど）

共通券（周遊券）・回数券の場合も1か所の住所しか登録できませんので、代表する任意の1施設の住所を記載してください。

(2) サイトでの対応言語

本サイトについては日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語の表示が可能です。各言語には事業者にて翻訳いただき、登録いただく必要がありますが、どの言語で登録を行う予定としているか把握するためのものです。現地での対応とはことなり、サイト上にどの言語で登録するかを5言語から選択してください。複数選択可能です。

○申請方法について

「施設入場券登録申請書」にご記入のうえ、下記申請先まで送付してください。

申請先

2025年日本国際博覧会協会 広報・プロモーション局 地域・観光部 観光推進課

メールアドレス：travel-guides@expo2025.or.jp

件名を「【施設入場券提出】申請書：〇〇〇」（※〇〇〇には申請者名を入力）としてください。

○申請承認後について

申請後、協会より承認の連絡があれば別途提供するマニュアルに沿って登録作業をしていただきます。（25ページ以降参考）

※申請が承認されても、掲載が確定するものではなく、システムの関係から掲載できない場合がありますのでご承知おきください。

※申請からサイト掲載までの目安は約1か月半～2か月程度です。（登録作業に要する時間により前後します。）

○施設入場券登録申請説明動画

施設入場券の申請方法について、説明した動画を公開しています。

※2024年5月8日・5月9日に実施した登録説明会のアーカイブ動画です。

【動画URL】

01 観光ポータルサイトについて

(<https://youtu.be/162VU9MTscg>)

02 施設入場券の商品申請について

(https://youtu.be/MwIHX89gZ_c)

03 施設入場券の商品登録について

(<https://youtu.be/MEKzs15WJh8>)

○施設入場券に関するお問い合わせ先

2025年日本国際博覧会協会 広報・プロモーション局 地域・観光部 観光推進課

メールアドレス：travel-guides@expo2025.or.jp

※件名を「【施設入場券質問】：〇〇〇」（※〇〇〇には申出者名を入力）として
ください。

3. 施設入場券の商品登録について

お客様からのサイトの導線は下記の通りです。
登録可能な商品は、体験・旅行、そして施設入場券です。次ページ以降では、施設入場券商品の具体的な登録の流れについてご説明いたします。

万博観光情報 ポータルサイト (ランディングページ)



画面イメージ

商品販売サイト



画面イメージ



体験・旅行



JTB+BÓKUN

施設入場券

TicketHUB®

商品販売サイトで登録可能な商品一覧

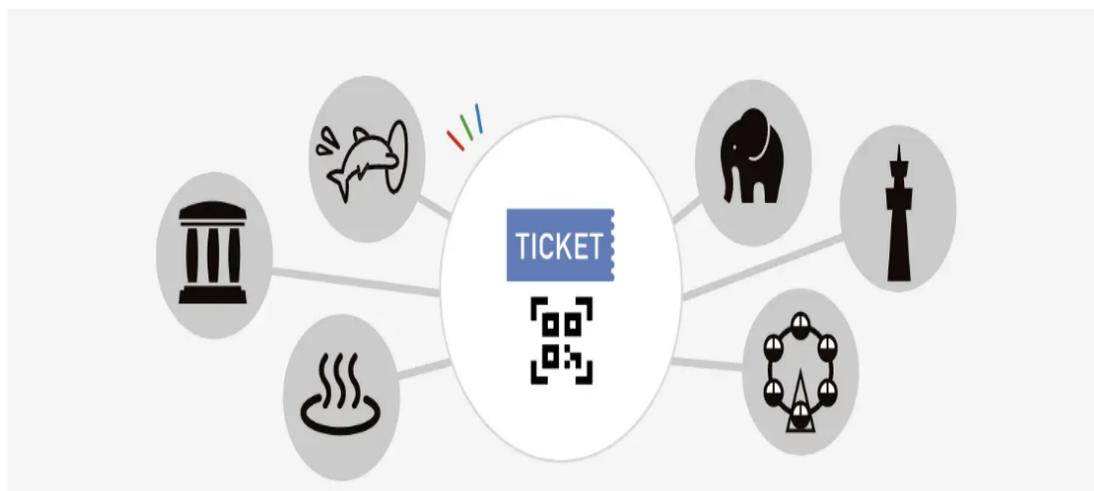
	大分類	種類	取扱可否	商品登録システム	カレンダー表示	リクエスト予約※2	旅行業登録(区分)			
							第1種	第2種	第3種	地域限定
旅行業外	体験 (宿泊なしかつ交通なし)	体験	○	JTB BÓKUN	○	○				
	施設入場券	施設入場券(日時指定なし)	○	チケットHUB	—	—				
		施設入場券(日時指定あり)	○	チケットHUB	○	—				
		共通(周遊)券	▲※1	チケットHUB	—	—				
		回数券	▲※1	チケットHUB	—	—				
		座席指定券	×	—	—	—				
旅行業	宿泊付き旅行 (宿泊ありかつ交通あり・なし)	募集型企画旅行	○	JTB BÓKUN	○	○	○	○	△ (隣接市町村等)	△ (隣接市町村等)
		受注型企画旅行	×	—	—	—	○	○	○	△ (隣接市町村等)
		手配旅行	×	—	—	—	○	○	○	△ (隣接市町村等)
	日帰り旅行 (交通あり)	募集型企画旅行	○	JTB BÓKUN	○	○	○	○	△ (隣接市町村等)	△ (隣接市町村等)
		受注型企画旅行	×	—	—	—	○	○	○	△ (隣接市町村等)
		手配旅行	×	—	—	—	○	○	○	△ (隣接市町村等)

※1 TPG内では利用回数履歴が表示されません。また、商品設定の際には、諸条件があります。

※2 リクエスト予約はプランの実施(在庫)に対するリクエスト機能です。

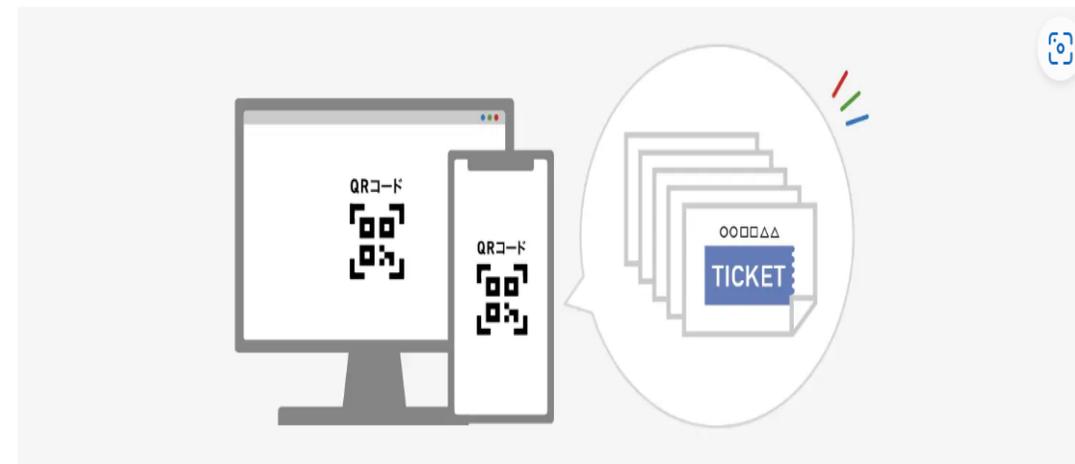
共通券機能

共通券機能は、1つの二次元バーコードで対象の複数施設にご入場いただける周遊チケットを作成できます。域内の観光施設が連携する共通券を販売することで、地域への集客と周遊を促します。



回数券機能

1つの二次元バーコードで対象施設を決められた回数利用が出来る回数券を作成できます。



ご自身の商品内容は、どの申請種別に該当するのか必ず事前にご確認いただきお間違えのないよう申請して下さい。



『観光ポータルサイト「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」商品登録申請の受付を開始』からお申込み下さい。

【URL】

<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240111-03/>



『観光ポータルサイト「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」施設入場券登録申請の受付を開始』からお申込み下さい。

【URL】

<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240522-05/>

なお、あり得るパターンとして、「施設入場」と「体験」の両方を設定したいといった場合は、どちらに申し込めばよいの？



【例】

水族館に入場し、アシカのえさやり体験プランを設定したい場合

【申請一例】

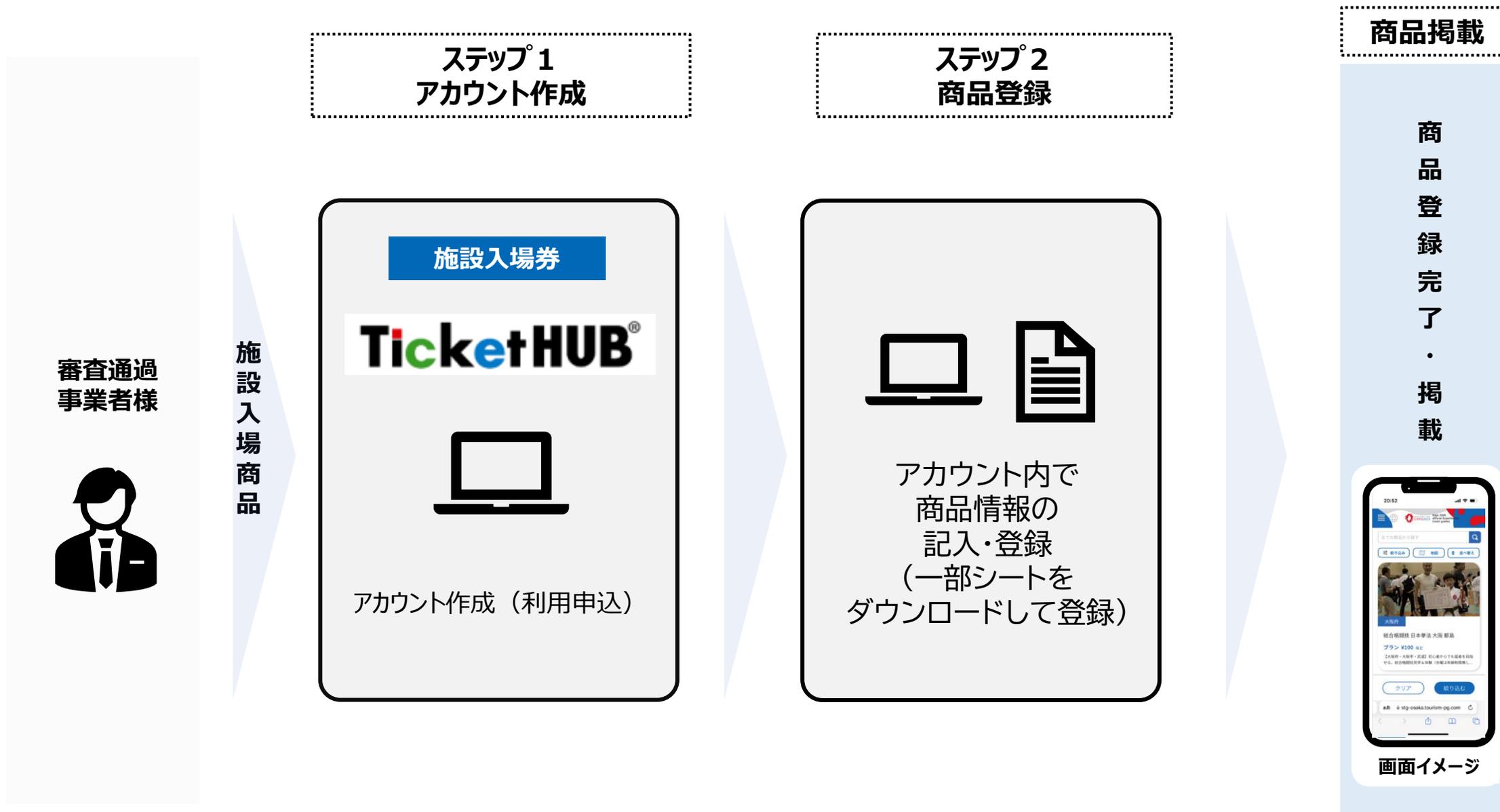
水族館の「入場券」と「えさやり体験」をセットプランとして「JTB+BOKUN」で申請

※時間帯別の在庫管理が必要な場合は、BOKUNで申請されるのがベター。事業者様としては商品申請が1回で済み、お客様も1回の購入操作で済む為。

※「施設入場」と「えさやり体験」を分けて販売したい場合は、施設入場は「チケットHUB」で、えさやり体験は「JTB+BOKUN」と分けて申請して下さい。

いずれも施設様のご事情を踏まえてご判断下さい。

なお、「体験」(JTB+BOKUN)で申請する場合は、体験商品の基準（左記URL参照）を満たす必要があります。



審査通過
事業者様



施設入場商品

ステップ1
アカウント作成

施設入場券

TicketHUB®



アカウント作成 (利用申込)

ステップ2
商品登録



アカウント内で
商品情報の
記入・登録
(一部シートを
ダウンロードして登録)

商品掲載

商品登録完了・掲載



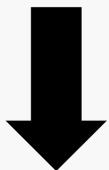
画面イメージ

主な流れ

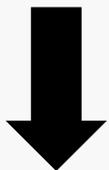
①利用申込



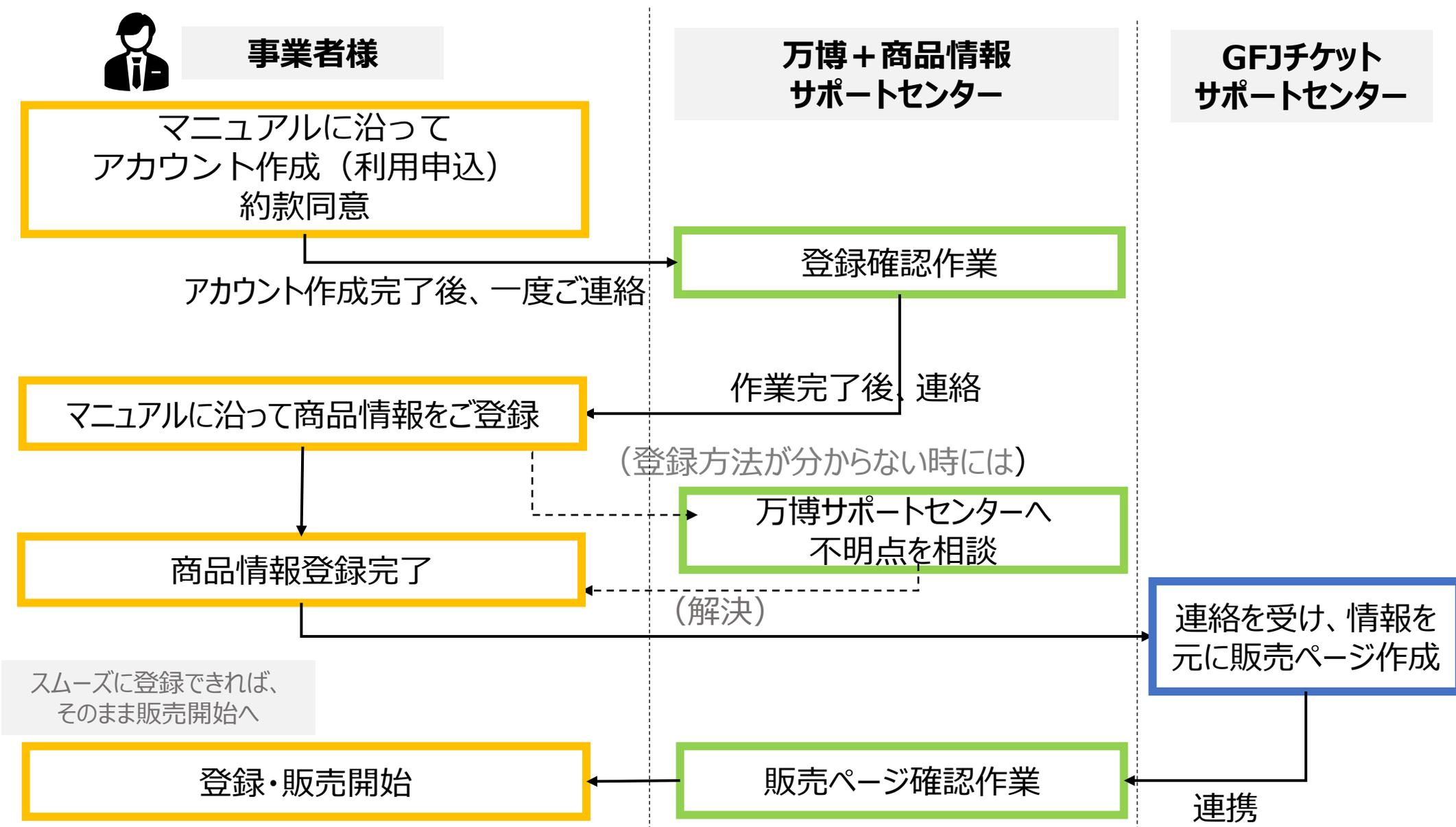
②商品情報入力



③問い合わせ



④登録完了
販売開始



新規で登録の事業者様

チケットHUBの商品情報を登録するにあたって
マイページのアカウント作成をいただきます。https://www.e2r.jp/ja/gfj_tplatform/



商品登録申請⇒承認が出た後、アカウント登録となります。承認を得る前にアカウント申請はしないで下さい。

「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」への掲載にあたっては、次の要件を満たすことが必要

ハード面の要件

- 事業者がパソコン及びメールアドレスを保有している事
- 事業者がインターネット環境を保有している事
- 事業者が精算に使用する事ができる銀行口座を保有している事
- 事業者が通信（Wi-FiやSIM等）が可能なスマートフォン・タブレット端末の準備が可能な事
 - ※お客様来場時にQRコード読込確認の為に必要
 - ※事業者の運用状況やお客様の利用状況に適した台数の確保が必要
 - ※新たに購入する必要はなく、一時的なレンタル端末や既存のスマートフォンを使用することも可能

事業者の要件

- 利用者（お客様）の都合によるキャンセル不可（買い取り）の施設入場券として商品設定いただく事
 - ※但し、自然災害や悪天候等の止むを得ない事由や事業者の都合（長期休園等）等が発生した場合は除く

「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」への掲載にあたっては、次の要件を満たすことが必要

事業者の要件

【共通（周遊）券・回数券の商品を申請する場合】

○主催（責任）事業者が、その他参加事業者に対して収入配分の取り決めを行い、分配手続き（お金のやり取り）をご自身で実施いただける事

※サイト運営事業者（JTB）からのお支払い（販売額から10%の手数料を差し引いた支払額）は、1個所の主催事業者にのみ対応が可能（JTB側では事業者様毎に収入分配はできません）

例：A水族館・B遊園地・C博物館・D美術館の共通券を申請し、B遊園地が主催（責任）事業者となる場合、

- ① B遊園地の責任においてA水族館・C博物館・D美術館に対し、事前に収入配分の取り決めを行う。
- ②サイト運営事業者（JTB）からB遊園地に一括で支払われた金額を事前に取り決めた収入配分に基づき、3施設に対して主催（責任）事業者が分配する。

○主催（責任）事業者が、その他参加事業者への商品内容の説明、着券操作の説明および約款同意、Web作業のご案内を主催事業者ご自身で実施いただける事。

※説明する際のマニュアル等はサイト運営事業者にてご用意させていただきます。